2019年開山祭　資料

2019/4/13
かがりび山の会　山行部

ヘリコプター救助要請方法

１．ヘリ要請するかの判断

ヘリが必要か、歩けるか、仲間で搬送でこるかを考える。
ヘリは夜間は飛べないため、夕暮れまでが勝負。

２．ヘリ要請準備

伝える内容をメモする。
・事故者の氏名と連絡先
・所属団体
・ケガの度合、
・事故発生場所（緯度経度を伝えるのがベスト）
・救助要請者の氏名と連絡先
・現場との通信手段
・ヘリコプターの出動が必要かどうか

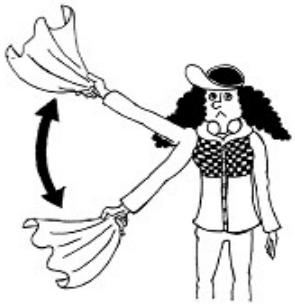
３．ヘリ要請

警察（110番）に連絡し、メモを見ながら状況を伝える。
・事故通報した携帯電話は、折り返し連絡するのであけておく、会への連絡は別の携帯からかけること。

救助を待つのに適した場所へ移動する。
・風雨がしのげる
・ヘリコプターに発見されやすい
・ヘリコプターへの収容が可能

ヘリコプターの風圧でテントなどの装備や木切れなどが飛散するので、飛ばされそうなものはあらかじめ撤収・排除しておく。

４．ヘリが来る。
・ヘリは一度現場を見に来て、準備のため引き返してそれから救助活動をすることがある。
・ヘリは風下側から進入してくるので、風上で待機する。
・自分が遭難者であることを伝えるために、雨具やジャケットなどを片手に持ち、上空に向かって大きく円を描くようにして振る。
　森の中では、青が目立つ、紅葉期のオレンジや赤は目立たない
・ヘリの搭乗員が確認できる位置まで近づいてきたら、今度は体の横で大きく上下に振る



・ヘリに風向きを教えるため、手を広げて背中を風上にして、じっと立っている

５．負傷者の引き渡し
・現金、携帯電話、保険証、免許証、連絡帳などを持たせる。

以上